

町章



町章（昭和35年10月制定）  
「大・マ・チ」を図案化した町章は、大町町の将来の発展と繁栄を表したものです。

磨き輝く小さな原石“大町”  
挑戦。そして創造。



挑戦。そして創造。

磨き輝く小さな原石“大町”



町木：キンモクセイ



町花：三色すみれ

町木：キンモクセイ  
昭和57年1月公募により決定

町花：三色すみれ  
昭和61年3月公募により決定  
・理由 暖かい春を迎えたという感じがするところから、炭鉱閉山後、新しい町づくりを目指し、皆に愛される町花に相応しいことから選定。

●大町町制施行70年の軌跡●

大町の詩



●大町町制施行70年の軌跡●

# 大町の詩



浦田自然公園内に立つ裸婦の記念像  
天地四方に感謝し、人の和で町が飛躍することを願って「天地人」と刻まれています。



大町町役場庁舎



町民グラウンド



大町小学校



大町中学校

## CONTENTS

### 本編…目次…

町制70周年の佳節を迎え	／ 1
大町町民憲章	／ 1
観る	／ 2～ 3
探る	／ 4～ 5
優しさ	／ 6～ 7
親しむ	／ 8～ 9
挑む	／ 10～ 11
行政・議会	／ 12
大町今昔写真館	／ 13～ 25
大町町70年を振り返って	／ 26～ 27

### 資料編…目次…

絵で見る町民の暮らし	／ 1
位置・地勢・人口	／ 2
産業経済	／ 3
民生・教育	／ 4
議会・行政	／ 5
財政	／ 6
財政・税務	／ 7
大町町組織機構図	／ 8

# 町制70周年の佳節を迎え

昭和11年1月1日に町制が施行され今年でちょうど70周年を迎えます。当時の人口は、18,456人、3,552世帯でした。折しも軍備拡張のため石炭産業が活況を迎えた時期でもありました。大町村から大町町へ…町制施行と新庁舎落成の祝い事が重なり全町民挙げての祝賀であったと聞いています。私がまだ生まれる前の出来事です。目を閉じてみると当時の賑わいが浮かんでくるようです。今日、大町町があるのは、先人たちが築き上げてこられたたゆまぬ努力と町を支えていただいている町民の皆様のご理解とご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

さて、地方自治を取り巻く環境が厳しさを増す中、町では平成13年、《磨き輝く小さな原石・大町》を基本理念に、「大町町第3次総合計画」を策定、“挑戦。そして創造。”を旨とし、行財政改革をはじめ、市町村合併の推進など、喫緊の課題に果敢に挑戦し、町民の皆様が幸せに暮らしていける住みよい町づくり、そして“新生・大町の創造”に積極的に取り組んでいるところでございます。

加えまして、大町町の誇る歴史と文化、そして、緑豊かな自然を永く後世に残し、町民の皆様とともに故郷を愛する心を育てていきたいと考えております。

終わりに、町制施行70周年を記念し、ここに町の概要を取りまとめましたので、わが町“大町町”へのご理解の一助になれば幸いに存じます。



大町町長 武村 弘正

## 大町町民憲章

- 一、人を愛し互いに助けあい  
励ましあう町をつくりましょう
- 一、郷土の自然を愛し美しい  
うるおいのある町をつくりましょう
- 一、教養をはぐくみ文化のかおり高い  
町をつくりましょう
- 一、勤労をよろこび心を合せて  
豊かな町をつくりましょう
- 一、体育にしたしみ健康で活力のある  
町をつくりましょう

# 観る

これからもずっと守っていききたい  
景観と名所



大町弁財天(聖岳神社)

五穀豊穡の守護神として市杵島姫命が祭られています。



聖岳展望台(標高418m)

町のシンボル聖岳から眺めると大町町の市街地・果樹園・美しい溜め池や田園地帯が一望でき、遠くに有明海、雲仙が見えます。



浦田自然公園

湖に囲まれたすばらしい景観のなか、サクラやツツジなど花や緑が楽しめます。ブラックバス釣りのポイントとしても有名です。

穏やかな気候風土と豊かな自然に恵まれた“ふるさと大町町”。町の北壁“聖岳”から望む有明海、その向こうには雲仙岳が…。鬼ノ鼻山、前髪山、聖岳、その連峰の懐に抱かれた佇まいは緑豊かで風光明媚な町です。春は山桜や藤の香が薫り、夏の深緑、秋にははげや銀杏の木々が山麓を彩ります。

そして、町の中央に走る旧長崎街道。その昔文人墨客が西洋文化に憧れ長崎を目指しました。その道すがら旅人が見聞したであろう貴重な文化財や多くの旧跡が随所に点在しています。



### 長寿の滝

明治中頃までは聖岳山頂にある弁財天への参拝順路で、参拝者がここで手を洗い身を清めていくことから「御手水の滝」(おちょうずのたき)と呼ばれていました。滝壺の周りには石仏が立ち並び、深山の霊場の雰囲気漂わせています。

町では、緑に恵まれた“ふるさと大町”をさらに美しくしたいと様々な機会に緑化運動を進めています。雑木しか育たないといわれているぼた山にも800本の桜木やもみじを町民の皆さんと一緒に植樹し、“緑豊かなぼた山”の創生に挑戦しています。



### 楠の群生林

聖岳の頂上近く、広さ1.5ヘクタールにわたり863本の楠(樹齢100年)が群生しています。明治から大正にかけて、楠の苗木5万本が植林されました。その名残りが楠の群生林です。県の名木古木指定を受けるなど貴重な存在で、“新さが百景”にも選ばれています。



### 浦川内公園

春になると桜花が満開になり訪れた人の目を楽しませます。



### 聖岳周辺遊歩道

平成15年に、県生活環境保全林整備事業で、聖岳周辺の遊歩道や森林整備が行われました。

# 探る

”大町は大沼路の約音なり、古は高良川の邊りより八幡宮の馬場先まで海岸大沼にてありしが、沼の脇に一條の道路あり之を大沼路と云ふ、田畝次第に開け人家漸く軒を並ぶるに至り一ヶの町をなせり依て大町の字に改めしとなん”（大町村史）

一説に大町は「古くは大沼路と呼ばれていた。それが訛って大町になった」と記してありますが、大沼路と言われていたことを証する資料は見当たりません。（大町町史）

如意輪観世音菩薩像(町指定文化財)



## ソウケ市

300年以上も続く伝統の“大町ソウケ市”。もともと大町市として夜遅くなくても帰宅できるように月夜を選んで旧暦8月14・15日に開かれていました。昭和40年頃から新暦9月14・15日に変更されましたが、雨になることが多かったため、現在では9月27日～29日の3日間、市が立ちます。（本町旧長崎街道沿い）



## 福母八幡神社

昔から、数々の名将が戦勝祈願をし、願いが叶う時は、御室の扉の開く音が聞こえ、宝殿がゆれ動いたと伝えられています。



## 大町八幡神社

神亀元年(724)壬生春成が宇佐八幡宮の分霊を奉安。また、横辺田総廟として領主の隠密祈願所として非常に重要なところでした。



### 回転経蔵(町指定文化財)

この経蔵を一回転すると、中に納められている3,800冊の一切経を一通り読経した巧徳があると伝えられています。



### 横辺田代官所跡

享和元年（1801年）に藩主鍋島治茂氏が大庄屋を廃止し、その代わりに作ったもので、年貢の取り立て、土木、整備など民政を引き受けていました。



### 土井家住宅

当初は造酒屋であったと言われており、19世紀初頭～中頃の建築物と思われ、町家風と農家風の造りを合わせ持つ構造が貴重であるとして、国の重要文化財に指定されています。



### 藤六の観音

「道近さん」こと藤原道近の妻、黄金姫が祭られています。大変な難産に苦しんだ姫が、臨終の際に自分が婦人の安産を守ることを誓われたといい、長寿の滝で身を清め、その水でお茶を入れてここに供えれば安産間違いなしとして、今でも信仰を集めています。



### ヤスマキ

武雄市山内町の黒髪山に巣くう妖怪を退治しにやってきた鎮西八郎源為朝に、住民が感謝の酒を献上したところ、為朝は大変喜んでこの地に幕を張り酒宴を催したことからヤスマキ「夜酒幕」と呼ばれるようになったと言われています。



聖太鼓



伝承芸能「豊年三助踊り」(小通)



伝承芸能「面浮立」(下瀧)



伝承芸能「皿踊り」(不動寺)



伝承芸能「女相撲甚句」(中島)



浮立太鼓

町民が健やかに過ごせる福祉と施設  
そして生きる力を育む教育

# 優しさ



大町保育園



大町中学校



大町小学校



大町幼稚園



健やかで生き生きと過ごせる基盤づくりは町づくりの基本といえます。

赤ちゃんからお年寄りまで誰もが健やかに安心して過ごせるふるさとづくりを目指した福祉施設サービスの充実や自ら考え正しく判断し、行動できる知・徳・体の調和の取れた健全な子どもの育成を進めています。





### 大町町総合福祉保健センター “美郷”

高齢者や障害者の人々が潤いと安らぎをもてる福祉を目指した「地域福祉センター」と町民の健康づくりの拠点としての保健活動、福祉保健を推進するための「保健センター」の二本の柱で運営しています。



スポーツセンター



大町町老人福祉センター “ひじり”



特別養護老人ホーム “すみれ園”



### 町立病院

昭和26年、大町診療所が大町町立病院となって以来、町民の身近な病院として、そして、地域の医療確保に努めてきました。平成18年4月、念願の眼科が常勤診療となり、地域医療がさらに充実しました。

# 親しむ

人と人とのふれあいを大切に

少子高齢化が進む中、地域・家庭のコミュニケーションの醸成は、健全な地域コミュニティを形成する上で、最も重要な課題といえます。町ではボランティア組織の育成とともに、人と人とのふれあいを大切に地域で支えあうしくみづくりを進めています。



応援にも力が入る分館テント



分館対抗百足競争



老友クラブボール送り



よくばりボール

笑顔がはじける町民運動会



ふるさとハイキング



ぼた山秋まつり



納涼盆踊り大会



ミニバレー



大町町読書まつり



文化芸能まつり

### 主なイベント

- 1月 元旦ウォーク、成人式
- 3月 スポーツレクリエーションまつり
- 5月 中学校体育大会
- 8月 盆踊り大会
- 9月 小学校運動会
- 10月 町民運動会、おくんち
- 11月 文化芸能まつり



ふれあい広場

# 挑む

まちを支える基幹産業



厳しい経済情勢が続く中、町内には農業・商業・工業など、町の基盤を支える活発な産業があります。白石穀倉地帯の一翼を担う農業は、温暖な気候と肥沃な土壌を背景に、県内有数の穀倉地帯を形成し、ハウス園芸や農産物加工にも日々挑戦しています。

また、炭鉱全盛期から続く3つの商店街は、今もなお、町民の最も身近なショッピングエリアとして親しまれ、“一店逸品運動”など、独自の取り組みで魅力の創出に努めています。

そして、製造業を中心とした工業は、町の産業を担う基幹として、工業ゾーンを形成し、町の活性化、雇用促進にも大きく貢献しており、更なる企業誘致が望まれています。



**大町町商工会(女性部)**  
商工会では、今年から県内でも先駆けて「一店逸品運動」というさらなるサービスに取り組んでいます。



**工房ひじり**  
町を代表する特産品となった「ひじりみそ」をはじめ、色々な農産加工品などを手作りしています。



**製造業**  
自動車関連、弱電・家電関連、精密機械関連、縫製関連の企業が操業しています。



稲刈り風景



未来を担う子どもたちの  
貴重な田植体験



米、麦を基幹作物にキュウリ、イチゴ、ナスなどが盛んに営まれています。



きゅうり



イチゴ



佐賀牛



養鶏



やすらぎパーク祭り



商店街

旧長崎街道沿いに、恵比須・大黒商店街、本通商店街、日の出商店街があります。



手作り小物の販売「手作り出前店」など、商工会活動を県内外へPR。(テレビ取材風景)



企業密集地帯

優良な企業が立地する工業エリア。



温泉試掘

平成18年、祐徳温泉(株)を誘致。平成19年開業を目指し、福母字浦田地区において湯質・湯量調査のためのボーリングが開始されました。

# 町民の声を反映 行政・議会

## 行政



庁舎



窓口



武村 弘正 町長

西依 和則 助役

近年、少子高齢化、地方分権が進む中、地方行政に課せられた役割は重要かつ膨大になっており、町民のニーズも多種多様化しています。

大町町では、赤ちゃんからお年寄りまで、すべての人が快適に生活していけるよう町民の声を反映した町民主体の町づくりを進めています。また、行財政の合理化を含めた健全で効率的な行政運営を積極的に推進しています。

## 議会



原田 謹吾 議長

松崎 直文 副議長



議場

大町町議会は、15人の議員で構成されています。議員は、町民の代表として、町民が安心して暮らせるよう議案を年4回の定例会や必要に応じて臨時会において審議し、議決します。議会には、総務、産業建設、文教厚生常任委員会があり、住民の声を反映すべく慎重に審議しています。

*Now and the bygone days*

大町  
今昔

写真館

あゆみ





貫通道路(土場口附近)



車社会の進展で交通量が増加。バイパス建設が望まれる国道34号。



大町町立病院



昭和26年大町保険組合から町営移管、大町町立病院となりました。当時は、医師4名、看護婦8名、薬剤師、レントゲン技師各1名書記その他3名でした。現在、杵島郡で唯一の公立病院として地域の医療を担っています。



大町駅



昭和24年の建築から、通勤・通学で多くの人に利用されている駅舎。老朽化のため、改築が予定されています。

# 今昔

# 今昔



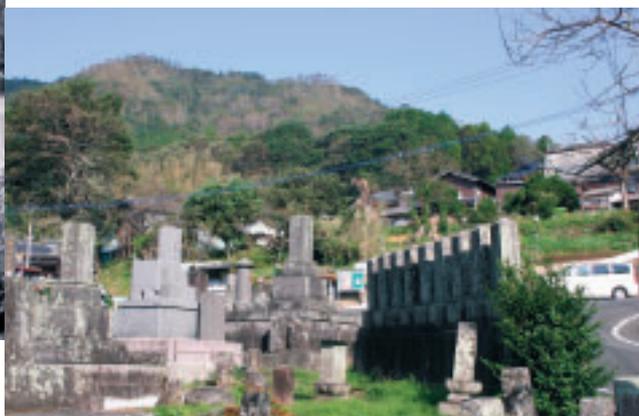
大町警察署



今年、白石警察署に統合され、大町幹部派出所となりました。



不動寺墓地



昔と変わらず今でも肅々と管理されています。



大町町役場



当時モダンな建築様式として注目を浴びた本庁舎も、老朽化のため平成元年に鉄骨造り2階建ての現庁舎が建築されました。



大町保育園



町民グラウンド



実業団やプロ野球の選手たちもこの地でプレーしました。現在は、照明も付き野球やソフトボール、グラウンドゴルフなど多くの町民の皆さんのコミュニケーションの場として利用されています。



杵島炭砒野球チーム(昭和26年)



大町小学校

今昔

# 今昔



今は大町中学校の体育館が建設されています。



大町中学校



昭和22年5月に開校し、昭和36年度には、36学級1,791名の生徒数を誇っていました。



全国一のマンモス校時代（昭和33年度86学級4,069名）の校舎や講堂はほとんど無くなり、体育館や新校舎が建設されました。



二本煙突



炭坑時代のシンボルだった煙突、懐かしい記憶が甦ってくる人も多いのでは。昭和44年の閉山後、昭和54年に大町町公民館が建設されました。



ぼた山から南へ



グラウンド周辺が随分と様変わりしています。

# 今昔



ぼた山から西へ

# 今昔



ぼた山



今では緑が生茂り、京ノ尾団地や戸建て住宅が建設されています。



大谷口展望所から



大谷口展望所などの高所から見ると、六角川手前が工業地帯に変化していることが分かります。

最盛期の昭和26年、杵島炭鉱は従業員5,400人を超え、出炭量は576,000トンを記録しました。今では、公民館やオリオンプラザ、進出企業の工場が建ち並んでいます。





大町マーケット



朝市の様子

食料品類を中心とした消費財の流通機構が発達し拠点となった大町マーケット（広場マーケット）。当時は、多くの客が訪れ、人で溢れていました。



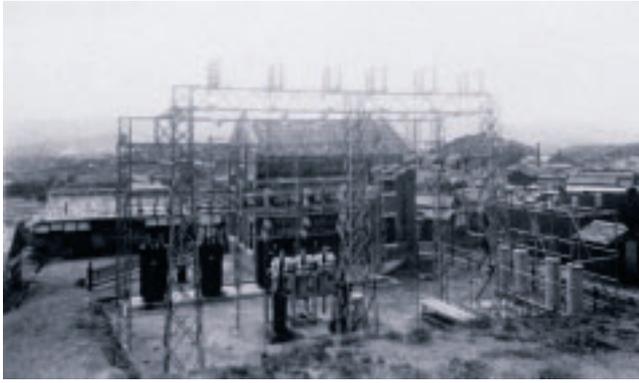
親和館(映画館)



映画館からその後ショッピングセンターへと変わりました。

今昔

# 今昔



杵島炭磁変電所



杵島炭磁時代の名残りをとどめている数少ない建物のひとつです。現在、地元有志の手で地域のコミュニティの場として活用しようと、コンサートや写真展などが実施されています。



中通附近



巨大な二本の煙突が町のシンボルでした。現在ではオリオンプラザの屋根が見えています。



親和会館と公衆浴場(炭坑風呂)



大勢の人が利用していました。炭坑で働いていた人たちが風呂に入るとすぐ風呂水が黒くなりました。それだけ坑内の状況は大変だったようです。今では、老人福祉センター「ひじり」やオリオンプラザ・ゲートボール場となり、子どもからお年寄りまで多くの方に利用されています。



電車路

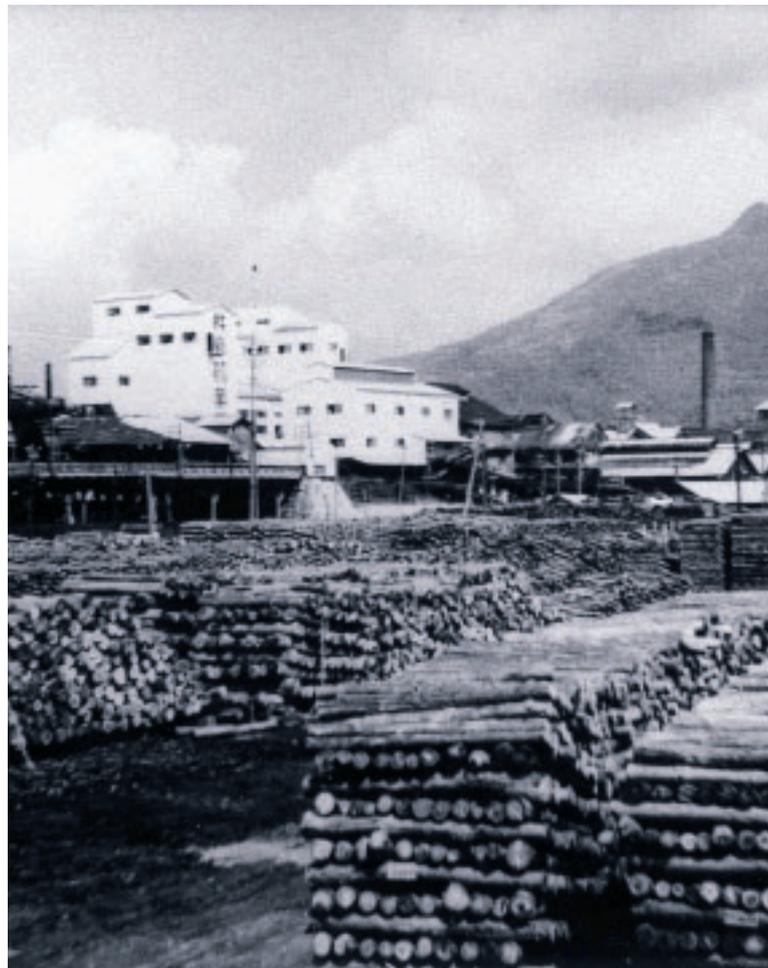


石炭運搬電車が走っていたレールも消え、今は町道として整備され車が走り、沿道には住宅が建ち並んでいます。



六角川(土場口)

石炭の海上輸送が行われ、ここから住ノ江港へと向っていました。



杵島炭砒貯木場(港町)

広大な敷地のあちこちに材木が山積みされていました。

今昔

# 今昔



児童公園



現在はおおまち情報プラザとして町の情報発信の拠点となっています。



児童公園のS L機関車



黒煙を上げて走り、見るものを圧倒した姿そのままに現存しています。現在は、情報プラザ敷地内に展示されています。





炭住風景（寿町）



今では町道と西側住宅は区切られていますが、当時は幾つもの橋が架かっていて行き来できました。



二重トンネル(恵比須町)

昔から数多くの人たちが通っている道です。今では、ここにあったトンネルの痕跡が僅かに残っています。



今昔

# 今昔



大谷口浴場

当時、炭坑風呂とともに多くの人たちに利用されていました。



本通商店街入口



当時は、一日中賑わいをみせていました。現在、通りはインターロッキングで舗装されていますが、当時のままの店も幾つか残っています。

# 大町町 70年

**1936/S11**

・町制が施行され、大町村から大町町となる。(当時の人口18,456人)  
 ・役場庁舎落成式及び町制施行記念祝賀会を開催。

**1937/S12**

・公会堂(旧公民館)が落成、昭和54年に取り壊され、現商工会館が建っている。

**1938/S13**

・小学校講堂が落成。  
 ・六角川に大町橋が完成。

**1939/S14**

・小学校校舎1棟増築される。

**1940/S15**

・国勢調査人口20,938人。

**1941/S16**

・大町尋常高等小学校を大町町国民学校と改称。

**1942/S17**

・8月の大型台風により町の南部、下潟、港町、下大町など浸水。

**1943/S18**

・健康保険組合設立される。  
 ・現通学道路完成。

**1944/S19**

・小学校運動場が拡張。  
 ・小学校に防火水槽2ヵ所設置。

**1945/S20**

・健康保険組合診療所開設。

**1946/S21**

・新町(現新町分館敷地)に大町診療所開設。

**1947/S22**

・6・3制施行により大町中学校発足。  
 ・国勢調査人口22,594人。

**1948/S23**

・国道34号線開通。  
 ・自治体警察大町署設置。  
 ・公会堂が改築され、公民本館となる。  
 ・水道事業に着工、四坑水源池開設。  
 ・健康保険組合、町に移管される。  
 ・中学校校舎2棟新設。

**1949/S24**

・大町町国民健康保険開始。  
 ・大町町社会福祉事業協会設立。

**1950/S25**

・大町診療所が新築移転(現町立病院地)。  
 ・大町駅舎、現在地に新築移転。  
 ・小学校養護室、中学校職員室、養護室新設。  
 ・国勢調査人口23,276人。

**1951/S26**

・大町診療所が大町町立病院となり、隔離病舎併設。  
 ・自治体警察を廃止し、国警大町地区署となる。

**1952/S27**

・第1回青年団婦人会合同運動会。  
 ・小学校二階建校舎2棟、保健室新設。  
 ・大町保育園増築。

**1953/S28**

・県道(現町道中央線)が町道に編入される。  
 ・大型台風15号南部平坦地一帯浸水。

**1954/S29**

・公益質屋開設される。  
 ・中学校図書館新設。  
 ・大谷口水源地開設。

**1955/S30**

・小学校二階建校舎新設。  
 ・大町保育園第2保育室1棟増設。  
 ・国勢調査人口22,400人。

**1956/S31**

・町制施行20周年、学校創立80周年記念式典挙行。

**1958/S33**

・武雄高校杵島分校設置(現杵島商業高校)。  
 ・小学校鉄筋三階建校舎新設。  
 ・大町町社会福祉協議会設置。

**1959/S34**

・杵島炭鉱一本松水源池が町に移管され、町営上水道中央水源池となる。

**1960/S35**

・武雄高校杵島分校が佐賀商高杵島分校となる。  
 ・杵島炭鉱保育所が町に移管され、町立中央保育園となる。  
 ・国勢調査人口20,427人。

**1961/S36**

・杵島炭鉱1,800人の人員整理を実施。  
 ・佐賀商高杵島分校が杵島商業高校となる。

**1962/S37**

・中学校鉄筋二階建校舎新設。

**1963/S38**

・町営プール新設。

**1964/S39**

・地籍調査事業開始(昭和39年~42年)。  
 ・中島工場団地造成。  
 ・杵東地区衛生処理場組合設立。  
 ・町報「おおまち」創刊。

**1965/S40**

・母子健康センター落成。  
 ・国勢調査人口14,740人。

**1966/S41**

・町制施行30周年、給食センター落成記念式典挙行。  
 ・学校給食開始。  
 ・中央保育園増築。  
 ・杉谷町営住宅76戸完成。

**1968/S43**

・小学校プール完成。  
 ・土場口の地下横断歩道完成。

**1969/S44**

・杵島炭鉱閉山。

**1970/S45**

・中学校体育館落成。  
 ・千場町営住宅64戸完成。  
 ・国勢調査人口10,649人。  
 ・電話自動化になる。

**1971/S46**

・町民グラウンド(旧杵島球場)新装完成。  
 ・弓道場完成。

**1972/S47**

・公益質屋閉鎖。  
 ・中学校新校舎建設。  
 ・杵藤地区広域市町村圏組合発足(2市10町)。  
 ・泉町町営住宅24戸完成。

**1973/S48**

・中学校テニスコート完成。  
 ・走ろう歩こう会始まる。  
 ・県営ほ場整備事業始まる。

**1974/S49**

・町営テニスコート新設。  
 ・大町スポーツセンター落成。  
 ・杵藤広域圏大町消防分署新設。  
 ・小学校火災により校舎2棟焼失。

**1975/S50**

・杵藤広域圏電算センター業務開始。  
 ・ごみ収集、杵藤ごみ処理センターへ搬入開始。  
 ・杵藤広域圏葬祭公園業務開始。  
 ・広域農道開通、馬田橋完成。  
 ・小学校創立100周年記念式典挙行、タイムカプセル設置。  
 ・国勢調査人口9,942人。

**1976/S51**

・大町児童遊園開園。  
 ・町制施行40周年、町立病院新築落成記念式典挙行。

**1977/S52**

・老人福祉センター「ひじり」落成。

● 歴代町長



初代・三代町長  
前山 秀市



二代町長  
鶴崎 悦次



四代町長  
大串 又左衛門



五代町長  
中山 末市



六代町長  
岸川 清次

# を振り返って

## 1978/S53

- ・町民グラウンドナイター施設完成。
- ・町報「おおまち」100号記念縮刷版発行。

## 1979/S54

- ・杵島工業用水道給水開始。
- ・大町町公民館新築落成。
- ・勤労青少年ホーム新築落成。
- ・町営テニスコートナイター施設完成。

## 1980/S55

- ・京ノ尾町営住宅24戸完成。
- ・商工会館新築落成。
- ・大型台風により中島、下潟、下大町など浸水。
- ・国勢調査人口9,776人。

## 1981/S56

- ・沖ノ神排水機場完成。
- ・中学校管理特別教室棟改築落成。
- ・大町警察署庁舎落成。
- ・京ノ尾町営住宅30戸完成。
- ・納涼花火大会復活。

## 1982/S57

- ・大町駅民間委託。
- ・浦川内町営住宅24戸完成。
- ・上水道配水池(1,000トン)完成。
- ・町木に「きんもくせい」制定。

## 1983/S58

- ・浦川内町営住宅16戸完成。
- ・浦田自然公園開園。
- ・町内時報チャイムに変わる。

## 1984/S59

- ・浦川内町営住宅8戸完成。
- ・小学校にトリム完成。
- ・杵東地区環境センター落成。

## 1985/S60

- ・大町町浄水場完成。
- ・浦川内公園開園。
- ・町民健康広場「オリオンプラザ」落成。
- ・6月の豪雨で三坑ぼた山災害。
- ・国勢調査人口9,682人。

## 1986/S61

- ・大町保育園移転新築落成。
- ・不動寺地区浄水場完成。
- ・町花に「三色すみれ」制定。
- ・「町民憲章」制定。
- ・町制施行50周年記念式典挙行。

## 1987/S62

- ・町制施行50周年記念碑が完成。
- ・町道中央線の商店街通りカラー舗装完成。
- ・第1回大町・長崎街道かごかき競争大会開催。

## 1988/S63

- ・大町小学校管理特別教室棟完成。

## 1989/H元

- ・大町役場新庁舎第1期工事完成。
- ・杵藤広域圏クリーンセンター完成。

## 1990/H2

- ・大町役場新庁舎第2期工事完成。
- ・ふるさと創生事業の一環として海外研修開始、「聖太鼓の会」結成、聖岳展望所・登山道完成。
- ・7月大豪雨による浸水、崖崩れ等の大災害。
- ・国勢調査人口9,239人。

## 1991/H3

- ・町道中央線以北、地籍調査事業開始
- ・台風17号、19号来襲。
- ・ふるさと創生事業の一環として「おおまちパルークラブ」結成。

## 1992/H4

- ・大町小学校体育館落成。
- ・駅前ふれあい広場落成。
- ・大町町防災行政無線システム完成。
- ・「大町町総合計画」策定。
- ・国際交流フェスティバル始まる。

## 1993/H5

- ・異常気象(冷夏・長雨)による大凶作。

## 1994/H6

- ・大町保育園を増改築(中央保育園との統合)。
- ・異常気象(大旱魃)により農作物に被害。

## 1995/H7

- ・県道錦江大町線拡張に伴い大町橋全面架け換え開通。
- ・国勢調査人口8,787人。

## 1996/H8

- ・大町町総合福祉保健センター「美郷」落成。
- ・特別養護老人ホーム「すみれ園」落成。
- ・旧中央保育園跡地に農村公園「ビートルパーク」完成。
- ・アメリカ合衆国アレンデル町と友好都市締結。
- ・町制施行60周年記念式典挙行。

## 1997/H9

- ・「おおまち情報プラザ」完成。

## 1998/H10

- ・友好都市「アメリカ合衆国アレンデル町」に親善使節団派遣。

## 1999/H11

- ・「大町町給食センター」落成。

## 2000/H12

- ・「下潟排水機場」落成。
- ・「ポケットパーク」完成。
- ・「大町町過疎自立促進計画」策定。
- ・国勢調査人口8,503人。

## 2001/H13

- ・家庭用合併浄化槽設置補助開始。
- ・ケーブルテレビサービスエリア開局。
- ・「大町町第三次総合計画」策定。

## 2002/H14

- ・ふるさと農道「杵島北部(大町)地区線」開通。
- ・緑の少年団結成。
- ・大町町生涯学習推進基本計画決定。
- ・「大町町地域情報化計画」策定。
- ・大町町公式ホームページ開設

## 2003/H15

- ・聖岳周辺遊歩道・森林整備と共に林道不動寺線改良舗装開通。
- ・大町町地域イントラネット基盤施設整備に着手。

## 2004/H16

- ・町道二本黒木～小通線及び農道28・31号線改良舗装開通。

## 2005/H17

- ・「大町町第四次行政改革大綱」策定。
- ・役場西側倉庫に常設資源物ステーション開設。
- ・大町町次世代育成支援行動計画策定。
- ・国勢調査人口7,956人。

## 2006/H18

- ・大町警察署が白石警察署と統合され大町幹部派出所となる。
- ・グリーンフェスタを開催。
- ・町道新村線改良舗装開通。
- ・町制施行70周年記念式典挙行。



七代町長  
三根 寛作



八代町長  
井上 勝次



九代町長  
馬場 徳二



十代町長  
藤井 万四郎

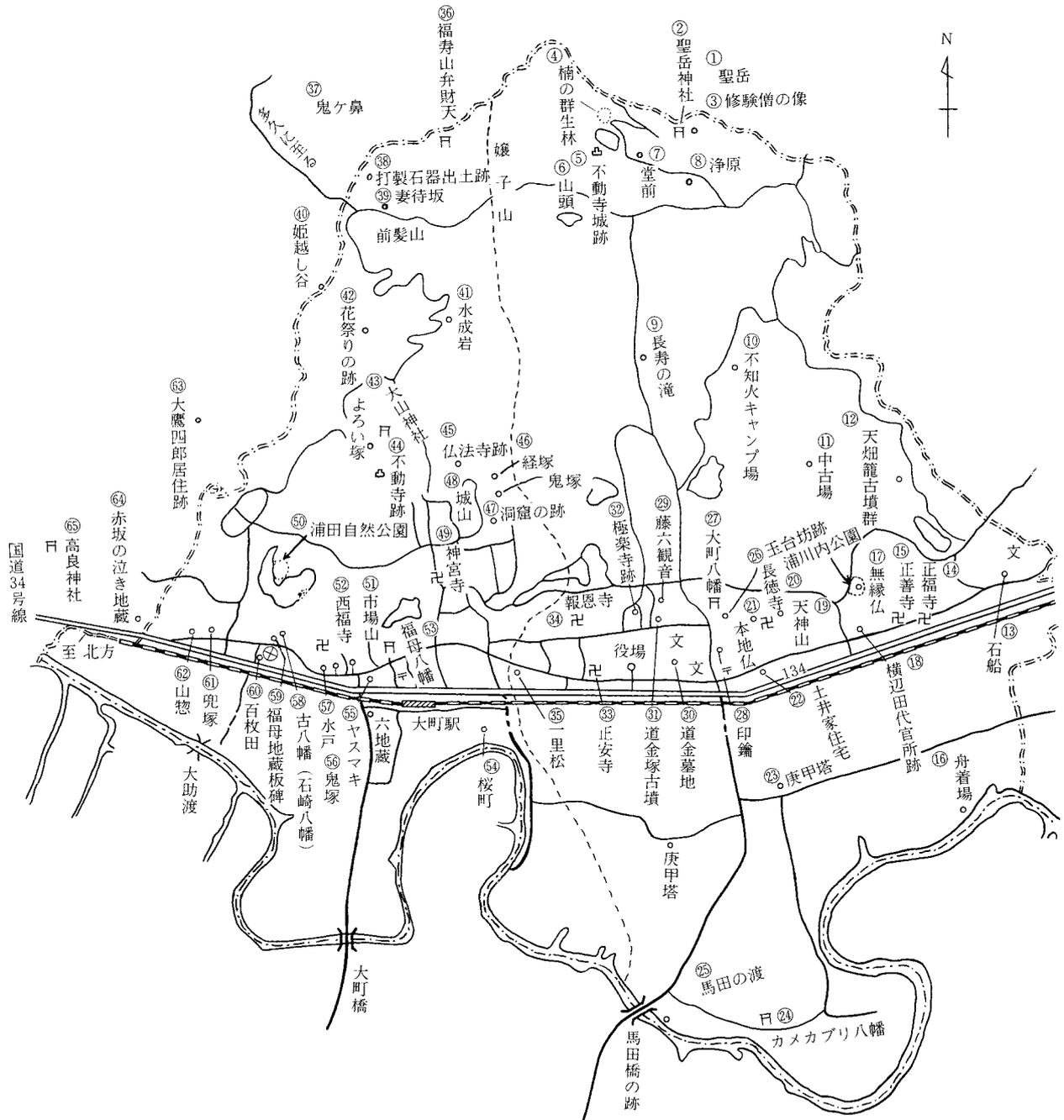


十一代町長  
梶原 卓馬



十二代町長  
武村 弘正

# 大町町名所・旧跡・伝記地図 (大町町史)



# Ō MACHI DATA FILE

## 資料編

### 目次

絵で見る町民の暮らし ..... 1

位置・地勢・人口 ..... 2

産業経済 ..... 3

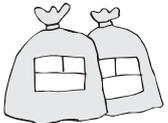
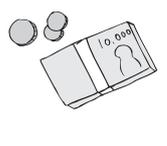
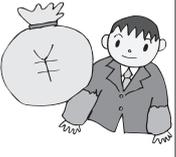
民生・教育 ..... 4

議会・行政 ..... 5

財政 ..... 6

財政・税務 ..... 7

大町町組織機構図 ..... 8

<b>■世帯数</b> 2,828世帯 <b>■人口</b> 7,956人 (平成17年 国勢調査より)	<b>人口密度</b>  1 km <sup>2</sup> 当り 694人	<b>出生</b>  7.9日に1人	<b>死亡</b>  3.3日に1人	<b>転入</b>  1.8日に1人	<b>転出</b>  1.2日に1人	<b>結婚</b>  9.6日に1組
<b>消防団員</b>  37.1人に1人	<b>離婚</b>  22.8日に1組	<b>老人</b>  (65歳以上) 3.4人に1人	<b>たばこ売渡数量</b>  1日に 52,669本	<b>町議会議員</b>  530人に1人	<b>火災</b>  1年に4件	<b>ゴミ収集量</b>  1日に6トン
<b>町職員</b>  71人に1人	<b>上水道使用量</b>  1ヶ月に 1世帯19.7m <sup>3</sup>	<b>世帯人員</b>  1世帯に2.8人	<b>救急車出動件数</b>  1年に326件	<b>教員</b>  生徒16人に 1人	<b>予算</b>  1人当り 347,486円	<b>町税</b>  1人当り 86,259円

## 位置地勢

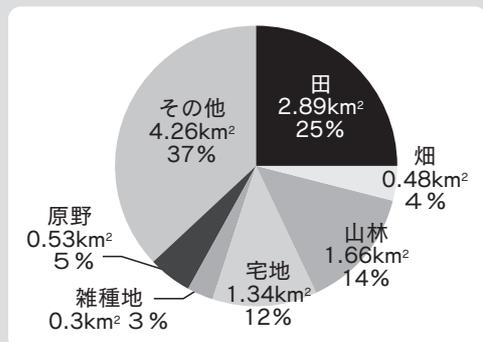
### ■位置及び交通条件

大町町は、北緯33° 11'、東経130° 03"、佐賀県のほぼ中央に位置し、東は江北町、西は武雄市、南は白石町、北は多久市に境界を接している。町の中央部やや南より佐賀県の基幹道路国道34号線が通り、これに並行してJR九州の佐世保線が通っており、中央部に大町駅がある。非常に交通立地に恵まれている。自動車では県庁都市佐賀市まで25分、広域生活圏中心都市武雄市まで15分、高速道路を利用すると九州の中核都市福岡市まで1時間の距離にある。このため通勤通学に大変便利な位置にある。

### ■地勢

大町町の総面積は、わずか11.46km<sup>2</sup>と狭い面積であり、東西4.46km、南北4.25kmの菱形に近い形をしている。地勢は、町の中央部を国道34号線とJR佐世保線が東西に走り、これを境に北部はゆるい南面傾斜をした山麓をなし、最上部は町のシンボル聖岳（標高421m）と一連の山並が走っている。国道34号線の北側は密集した市街地を形成し、その後背地の緩やかな斜面に数多くの美しい溜池が点在し、果樹園地や畑となっている。一方、南部は対象的な平坦地で農業集落が点在し、大部分は規則的に区画整理された水田で、穀倉地帯白石平野の一角をなしている。その南に六角川が蛇行し緩やかに流れ、隣接自治体と境をなしている。

### ■地目別土地面積



資料：町民課

## 人口

### ■世帯数と男女別人口

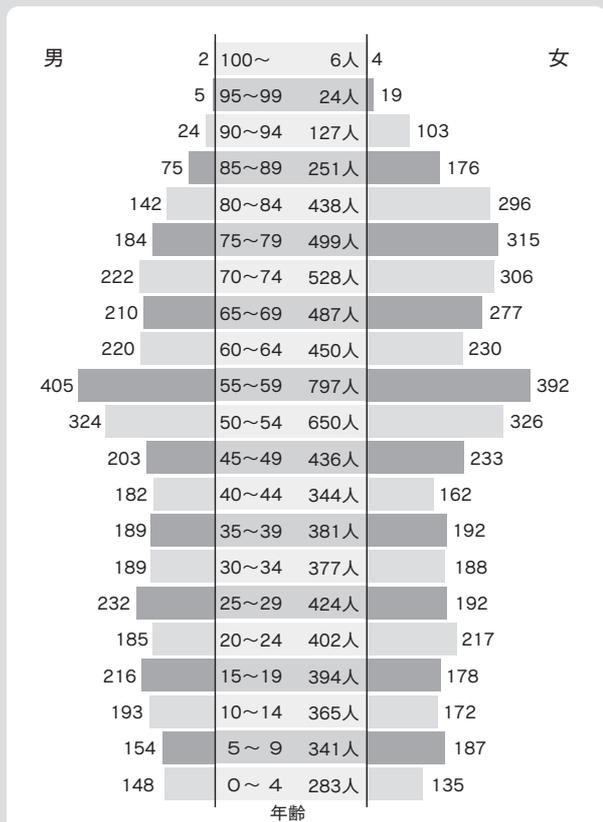
(単位：世帯、人)

年次	世帯数	人口		
		総数	男	女
昭和10年	3,936	19,983	10,363	9,620
15年	4,130	20,938	10,834	10,104
22年	4,576	22,594	11,249	11,345
25年	4,608	23,276	11,458	11,818
30年	4,389	22,400	11,017	11,383
35年	4,301	20,427	9,745	10,682
40年	3,584	14,740	6,938	7,802
45年	2,968	10,649	4,923	5,726
50年	2,969	9,942	4,580	5,362
55年	3,005	9,776	4,576	5,200
60年	3,042	9,682	4,536	5,146
平成2年	2,985	9,239	4,310	4,929
7年	2,961	8,787	4,096	4,691
12年	2,929	8,503	3,913	4,590
17年	2,828	7,956	3,632	4,324

資料：国勢調査

### ■年齢階級別人口

(単位：人)



資料：町民課(平成18年9月30日現在・住民基本台帳)

# 産業経済

## 産業別就業者数

(単位：人、%)

年次	第1次産業	第2次産業		第3次産業					方水道・電気・不動産業
	%								
平成2年	9.1%	39.3%		51.6%					
	農林漁業 377	製造業 1,204	建設業 422	卸売業・小売業 890	サービス業 751	運輸・通信業 187	公務 178	金融保険業 105	28
				鉱業 5					
平成7年	7.7%	36.7%		55.6%					
	農林漁業 309	製造業 1,060	建設業 412	卸売業・小売業 865	サービス業 853	運輸・通信業 184	公務 219	金融保険業 87	24
				鉱業 3					
平成12年	7.6%	36.5%		55.9%					
	農林漁業 290	製造業 990	建設業 393	卸売業・小売業 860	サービス業 872	運輸・通信業 144	公務 149	金融保険業 78	17
				鉱業 1					

資料：国勢調査

## 農家戸数及び耕作面積

(単位：戸、ha)

年次	農家戸数	専・兼業別農家戸数			耕作面積			
		専業	一種兼業	二種兼業	総計	田	畑	その他
平成7年	240	69	55	116	329	297	12	20
平成12年	190	54	50	86	312	290	7	15
平成17年	166	45	29	92	292	276	7	9

資料：農業センサス

## 商業の推移

年次	商店数	従業員数(人)	販売額(万円)	一店あたりの従業員数(人)	従業員1人当たり販売額(万円)
平成4年	178	618	740,053	3.5	1,197
平成9年	149	531	650,186	3.6	1,224
平成16年	132	454	461,950	3.4	1,018

資料：商業統計調査

## 民生教育

### ■小・中学校の推移 (各年5月1日現在)

(単位：校、学級、人)

区分	小学校						中学校					
	学校数	学級数	教員数	児童数			学校数	学級数	教員数	児童数		
				総数	男	女				総数	男	女
平成13年	1	16	24	469	249	220	1	10	20	267	144	123
平成14年	1	15	24	467	252	215	1	8	19	243	130	113
平成15年	1	14	22	437	235	202	1	9	22	248	130	118
平成16年	1	14	21	432	224	208	1	8	21	230	123	107
平成17年	1	14	21	424	213	211	1	8	19	232	124	108
平成18年	1	14	22	421	212	209	1	8	19	213	113	100

資料：学校基本調査

### ■保育園・幼稚園の状況

(平成18年4月1日現在)

(単位：園、人)

区分	設置数	園児数			職員数
		総数	3歳児未満	3歳児以上	
大町保育園	1	191	36	155	19
大町幼稚園	1	21	0	21	4
計	2	212	36	176	23

### ■平成18年国保加入状況

(平成18年9月30日現在)

(単位：世帯、人)

世帯数	総数	退職	老人	一般
1,909	3,509	576	1,231	1,702

### ■平成18年国民年金加入状況

(平成18年9月30日現在)

(単位：人)

総数	1号被保険者	3号被保険者	任意加入者
1,730	1,252	465	13

### ■公営住宅配置状況 (平成18年4月1日)

(単位：戸)

区分	住宅名	建築年次	木造	簡平	中耐	計
町営	杉谷	S, 39~41	8	68		76
町営	千場	S, 44~45		64		64
町営	泉	S, 46~47		24		24
町営	京ノ尾	S, 54~55			54	54
町営	浦川内	S, 56~58			48	48
計			8	156	102	266

資料：建設課

### ■道路の現況 (平成18年4月1日現在)

区分	路線数	実延長	改良済延長	改良率(%)	舗装済延長	舗装率(%)
一級町道	10	18,164	17,645	97.1	18,164	100
二級町道	8	9,694	8,930	92.1	9,694	100
その他町道	47	21,176	19,341	91.3	21,080	99.5
計	65	49,034	45,916	93.5	48,938	99.8

資料：建設課

### ■ゴミ処理状況

(単位：人、トン)

	処理計画人口	処理人口	年間総排出量	年間総収集量
平成16年	8,263	8,263	2,224	2,224

資料：生活環境課

# 議会

## ■歴代議長

歴代	氏名	在任期間
初代	三根 寛作	昭和22・5～昭和26・4
2	松田市兵衛	昭和26・5～昭和28・4
3	諸岡千太郎	昭和28・5～昭和30・4
4	岩淵 次郎	昭和30・5～昭和34・4
5	北川 繁	昭和34・5～昭和38・4
6	大串 隆保	昭和38・5～昭和42・4
7	永尾 新一	昭和42・5～昭和44・9
8	杉原 正明	昭和44・10～昭和46・3
9	永尾 新一	昭和46・5～昭和50・4
10	森木 靖明	昭和50・5～平成 3・3
11	堺 源太郎	平成 3・5～平成 7・4
12	野村 芳勝	平成 7・5～平成 15・4
13	原田 謹吾	平成15・5～ 現在

## ■歴代副議長

歴代	氏名	在任期間	歴代	氏名	在任期間
初代	諸岡千太郎	昭和22・5～昭和26・4	14	村山 定	昭和62・5～平成 3・4
2	井上 勝次	昭和26・5～昭和28・4	15	野村 芳勝	平成 3・5～平成 7・4
3	北島 為一	昭和28・5～昭和30・4	16	古賀富士夫	平成 7・5～平成 11・4
4	北川 繁	昭和30・5～昭和34・4	17	中島 英人	平成 7・5～平成 13・6
5	大串 隆保	昭和34・5～昭和38・4	18	南川 正明	平成13・7～平成 15・4
6	一ノ瀬作男	昭和38・5～昭和42・4	19	松崎 直文	平成15・5～ 現在
7	杉原 正明	昭和42・5～昭和44・9			
8	森田 春次	昭和45・7～昭和46・4			
9	森木 靖明	昭和46・5～昭和50・4			
10	大川内清秀	昭和50・5～昭和54・4			
11	松田 昭三	昭和54・5～昭和54・11			
12	森田 春次	昭和54・12～昭和58・4			
13	野村 芳勝	昭和58・5～昭和62・4			

# 行政

## ■歴代町長

歴代	氏名	在任期間
初代	前山 秀市	昭和11・1～昭和11・7
2	鶴崎 悦次	昭和11・8～昭和15・1
3	前山 秀市	昭和15・2～昭和19・1
4	大串又左衛門	昭和19・2～昭和19・11
5	中山 末市	昭和19・12～昭和22・1
代理	満岡 莊七	昭和22・2～昭和22・3
6	岸川 清次	昭和22・4～昭和26・3
7	三根 寛作	昭和26・4～昭和30・4
8	井上 勝次	昭和30・5～昭和34・4
9	馬場 徳二	昭和34・5～昭和38・4
10	藤井万四郎	昭和38・5～昭和46・4
11	梶原 卓馬	昭和46・5～平成 7・4
12	武村 弘正	平成 7・5～ 現在

## ■歴代助役

歴代	氏名	在任期間
初代	山下 豊太	昭和11・1～昭和12・9
代理	武富時之助	昭和12・12～昭和13・2
2	山口 保夫	昭和13・6～昭和17・5
3	武富時之助	昭和17・6～昭和20・5
4	田島芳太郎	昭和20・6～昭和21・12
5	山下 覚次	昭和22・7～昭和23・5
6	三好 文蔵	昭和23・5～昭和26・12
7	亀川 静次 水町 策恵	昭和26・12～昭和30・4
8	岸川 清次	昭和30・5～昭和34・4
9	南川 正行	昭和34・5～昭和42・6
10	北川 繁	昭和42・9～昭和46・9
11	三根 光男	昭和47・2～平成 4・4
12	武村 晃	平成 4・5～平成 7・4
13	吉岡 史郎	平成 7・6～平成12・3
14	西依 和則	平成12・6～ 現在

## ■歴代収入役

歴代	氏名	在任期間
初代	小川内英次	昭和11・1～昭和11・10
2	三好 文蔵	昭和11・10～昭和19・10
3	小川内英次	昭和19・11～昭和26・11
4	秋永 勝馬	昭和26・11～昭和34・5
5	園田 芳太	昭和34・6～昭和42・6
6	梶原 熊男	昭和42・9～昭和46・9
7	田中 増夫	昭和47・2～昭和62・10
8	早田 知成	昭和63・4～平成 4・4
9	武村 弘正	平成 4・5～平成 6・5
10	松田 之元	平成 7・6～平成15・6

## 財政

### ■一般会計歳入歳出決算額の推移

(単位：万円)

年度		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
区分						
歳入	町 税	92,588	66,343	66,261	70,604	69,987
	地方譲与税	2,793	2,801	2,928	4,518	6,108
	利子割交付金	3,537	866	603	582	378
	地方消費税交付税	7,550	7,116	7,700	8,377	7,987
	自動車取得税交付金	1,248	1,060	1,039	1,114	1,132
	地方特例交付税	3,180	4,961	1,477	2,376	2,691
	地方交付税	136,659	103,558	127,167	125,835	119,507
	交通安全対策特別交付金	164	146	172	157	151
	分担金及び負担金	6,142	6,278	6,582	6,808	7,433
	使用料及び手数料	5,555	5,481	5,508	5,277	5,304
	国庫支出金	12,542	12,048	17,235	12,788	10,261
	県支出金	11,552	12,058	13,338	12,274	13,742
	財産収入	523	408	509	353	913
	寄附金	498	86	1,054	43	23
	繰入金	7,120	46,210	24,450	7,207	12,794
	繰越金	5,442	4,610	3,028	4,090	1,694
	諸収入	8,712	9,066	10,873	10,290	8,564
	町債	44,490	36,669	64,620	50,820	25,370
	配当割交付金	0	0	0	46	111
	株式等譲渡所得割交付金	0	0	0	62	121
歳入合計	350,295	319,765	354,544	323,621	294,271	
歳出	議会費	9,837	9,107	9,115	9,151	8,570
	総務費	60,894	58,463	70,242	50,914	47,458
	民生費	60,964	64,172	65,861	69,611	67,855
	衛生費	45,153	44,409	50,404	52,118	48,831
	労働費	224	210	210	210	207
	農林水産業費	44,761	27,894	33,511	18,588	7,723
	商工費	8,879	9,233	9,037	8,891	6,421
	土木費	20,479	17,224	22,553	17,983	16,963
	消防費	16,383	14,060	14,256	13,787	13,402
	教育費	37,410	33,180	33,200	32,598	29,693
	災害復旧費	522	11	5	107	3
	公債費	36,048	36,166	37,050	46,259	41,928
	諸支出費	32	11	10	10	9
歳出合計	341,586	314,140	345,454	320,227	289,063	

資料：各年度決算書

### ■国民健康保険特別会計

(単位：万円)

歳入		歳出	
区分	決算額	区分	決算額
国民健康保険税	21,861	総務費	1,043
使用料及び手数料	6	保険給付費	61,673
国庫支出金	33,554	老人保健拠出金	18,471
県支出金	3,453	介護納付金	4,493
療養給付費交付金	17,201	共同事業拠出金	1,416
共同事業交付金	1,654	保健事業費	128
財産収入	3	基金積立金	3
繰入金	8,828	公債費	0
繰越金	4,432	諸支出金	815
諸収入	93	予備費	0
合計	91,085	合計	88,042

資料：平成17年度決算書

### ■水道事業会計

(単位：万円)

収入		支出	
区分	決算額	区分	決算額
営業収益	20,959	営業費用	21,697
給水収益	20,911	原水及び浄水	14,244
受託工事収益	0	配水及び給水費	2,163
その他営業収益	48	受託工事費	0
営業外収益	4,290	総係費	3,494
受取利息	1	減価償却費	1,796
一般会計繰入金	4,284	資産減耗費	0
雑収益	5	営業外費用	2,080
		支払利息	1,438
		雑支出	42
		繰延勘定償却費	600
		特別損失	88
合計	25,249	合計	23,865

資料：平成17年度決算書

### ■灌漑用水ポンプ施設維持管理事業特別会計

(単位：万円)

歳入		歳出	
区分	決算額	区分	決算額
財産収入	482	総務費	744
繰入金	261		
諸収入	1		
合計	744	合計	744

資料：平成17年度決算書

### ■老人保健特別会計

(単位：万円)

歳入		歳出	
区分	決算額	区分	決算額
支払基金交付金	76,685	医療諸費	133,661
国庫支出金	37,209	諸支出金	917
県支出金	9,355	予備費	0
繰入金	9,708		
繰越金	101		
諸収入	98		
合計	133,156	合計	134,578

資料：平成17年度決算書

### ■町立病院事業会計

(単位：万円)

歳入		歳出	
区分	決算額	区分	決算額
医業収益	74,050	医業費用	79,129
入院	39,749	給与費	47,107
外来	29,019	材料費	19,064
その他	5,282	経費	10,344
医業外収益	6,335	減価償却費	2,507
		資産減耗費	63
		研究研修費	44
		医業外費用	2,601
		予備費	
合計	80,385	合計	81,730

資料：平成17年度決算書

### ■指定居宅サービス事業特別会計

(単位：万円)

歳入		歳出	
区分	決算額	区分	決算額
サービス収入	4,148	総務費	4,618
繰入金	469	予備費	0
諸収入	0		
財産収入	1		
合計	4,618	合計	4,618

資料：平成17年度決算書

## 税務

### ■町税決算額

(単位：万円、%)

区分	平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度	
	決算額	構成比								
町民税	48,682	53	23,198	35	26,748	40	29,028	41	27,532	39
固定資産税	37,115	40	36,442	55	32,349	49	34,227	48	35,321	50
軽自動車税	1,318	1	1,329	2	1,393	2	1,446	2	1,482	2
町たばこ税	5,473	6	5,374	8	5,771	9	5,903	8	5,652	8
計	92,588	100	66,343	100	66,261	100	70,604	100	69,987	100

資料：町民課

# 大町町 組織 機構図

